

トマトふりかけ「たまフル」の活動報告

1. 学校魅力推進委員会のメンバー

- (1) 職員 7名
教頭・教務主任・農場長・各学科主任（4名）
- (2) 生徒 17名
 - (ア) 委員長 1名
 - (イ) 副委員長 2名
 - (ウ) 委員 15名（各クラスより1名～2名の委員で構成）

2. 取り組み状況の紹介

(1) 第1回実行委員会 4月15日（月）



- (ア) 自己紹介
- (イ) 委員長・副委員長の決定
- (ウ) イチゴバターに続く
第2弾の規格内容の検討

(2) 第2回実行委員会 5月1日（水）



- (ア) イチゴバターに続く第2弾の検討
- (イ) 商品開発に当たり下記の条件を設定
 - ① 4種類で1つの商品
4学科のイメージを表現できること。
 - ② ある一定の保存ができること。
 - ③ 地域または北稜高校が生産したものを活用できるもの。

(ウ) 提案された商品のアイデア

トマトジュース、トマトラーメン、トマトふりかけ、レトルトカレースモモジャム、ハーブティー、みかんピール、みかんクリーム
みかんジャム、オレンジヨーグルトゼリー、みかんバター石鹸
野菜と果物のチップ、ドライフラワー、ドライフルーツパン、果物あめ
入浴剤、イチゴミルク、イチゴジュース、イチゴあめ、イチゴジャム

(3) 第3回実行委員会 6月11日(火) ふりかけの素材について検討



前回提案された商品より
4つに絞り、翌日の企業
との打ち合わせ会で提案

入浴剤・レトルトカレー・トマトふりかけ・石鹸

(4) 第4回実行委員会 6月18日(火) 企業との打ち合わせ



- (ア) 参加企業 玉名フラワーパーク 柴尾美道 様
株式会社イチゴラス 代表取締役 森川竜典 様
玉名市役所地域振興課 平野利和様・田上真紀様
- (イ) 企業と連携して商品化として考えている4品を提案

入浴剤・レトルトカレー・トマトふりかけ・石鹸

「トマトふりかけ」決定

(5) 第5回実行委員会 6月25日(火) ふりかけの原材料について検討



- (ア) 材料・味の検討
玉名市の特産品や北稜高校などで提供できる素材などを検討
ベーコン、のり、カツオ、醤油などの味、または材料が提案された。

(6) 第6回実行委員会 7月9日(火)

ふりかけのコンセプト・素材・ラベルについて検討



(ア) トマトふりかけのコンセプト(商品名)の検討

タマナにふりかけ・タマナふりかけ・たまな大スキごはんなどが提案

(イ) 素材の検討

玉名市・北稜高校・玉名フラワーパークなどをPRできるものを検討
わかめ・のり・イチゴなど、ご飯に合う素材など提案

味付けは家政科に試作品を依頼

(ウ) ラベルの製作について

今後、どのようにラベルの製作をしていくか検討した結果、全校生徒に募集して魅力推進委員会で決定することにした。

(7) 家政科での試作品づくり

① 7月10日(水): 市販のふりかけの味を知る(食べ比べ)



② 7月17日(水): 自分たちでの試作・研究



③ 7月22日(月): 企業の方と共に試作・研究



(8) 第7回実行委員会 7月22日(月)



- (ア) コンセプト(商品名)の決定
提案されたコンセプト(商品名)

タマナの御飯・北稜作ふりかけ王者爆たん・玉名トマト食堂
ちやちやっと玉名飯・たまフル

「たまフル」に決定

- (イ) 家政科で提案された味の検討
たまなフラワーパーク様に会社で製造してもらい夏休みに改めて検討
- (ウ) ラベルの募集
全校生徒に夏休みの間に考えてもらい、始業式に各クラスより3点以内の作品を学校魅力推進委員会に提出

(9) 第8回実行委員会 8月6日(火) ふりかけの試食・改善点の検討



- (ア) 味、素材などを検討
- (イ) ご飯以外にも合う料理はあるかどうかの検討
- (ウ) 取材【熊本日日新聞・ひまわりテレビ】の対応

(10) 8月20日(火) ふりかけの製造【たまなフラワーパーク視察】



- (ア) 企業見学【玉名フラワーパークの見学】



(イ) トマトふりかけ「たまフル」の製造の視察及び手伝い

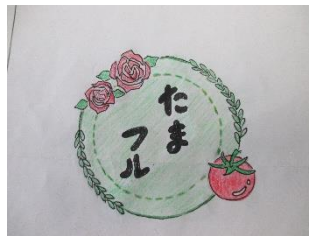
(11) 第9回実行委員会 9月3日(火) ラベル・容器の検討



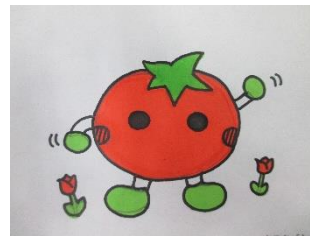
(ア) ラベルの検討



【①】



【②】



【③】

上記の3作品を全校生徒の投票にて決定することとした。



【①】に決定

(イ) 容器の決定



安全性・利便性から考えて上記のプラスチック容器に決定。蓋は赤色とした。

